早稲田キャリア研究会
Waseda Career Society

第二期活動報告書

2023.4 - 2024.3
ANNUAL REPORT



©2024 Waseda Career Society

目次

01 Who We Are

3 at a Glance
4 Purpose
5 第二期代表挨拶/役職者紹介
7 活動モデル

02 What We Do

9 Year in Review
10 活動サマリ
11 成果と進捗

03 Next Steps

28 第三期代表挨拶/責任者紹介
30 次年度目標
33 今後の取り組み

04 Appendix

35 Member Interview
38 会計報告
39 第二期運営メンバー名簿

05 Special Thanks

41 後援・協賛・賛助・協力

©2024 Waseda Career Society

01. Who We Are

at a Glance 3
Our Purpose 4
第二期代表挨拶/責任者紹介 5
活動モデル 7

©2024 Waseda Career Society

at a Glance

一目でわかるキャリ研

パーパス

P. 5

学生が納得したキャリアを選ぶために、キャリアの選択肢を増やす

会員数

P. 16

81名

昨年度継続者 **20**名

新規入会者 **61**名

会員の学部のばらつき

標準偏差 **7.0** → **5.1**

学生講師による講座の満足度

P. 12

4.35/5

特に評価が高かった講座 BEST3

1st	業界分析講座 投資銀行編	4.68
2nd	ケースフェルミ講座 第2回	4.60
3rd	マナー講座 第2回	4.58

協働した企業数

P. 11

(第一期) **4**社 → **11**社

参加者数が最も多かったイベント

60名 Lifortune株式会社様 共催 経営者交流会

※参加した学生・社会人の総数

実施した総イベント数

P. 16,20

外部講座イベント **9**回

※学生が実施した講座を除く

コミュニティ活動 **8**回

運営メンバー数

P. 18

(第一期) **6**名 → **30**名

※最大時

4年生 **4**名
3年生 **6**名
2年生 **8**名
1年生 **12**名

ボードメンバー制度の制定・実行

公認サークル化

P. 19

早稲田大学公認サークル化

早稲田祭出店

P. 16

早稲田祭に初参加「モッフル」販売

©2024 Waseda Career Society

INCREASE STUDENTS' CAREER CHOICES

PURPOSE

学生が納得したキャリアを選ぶために、キャリアの選択肢を増やす

「新入社員の 3 割が 3 年で辞める」という言説は有名です。
しかし、これは決して若者の忍耐力が下がったからでも、また企業が若者に意地悪をしたからでもありません。
私たちは、これが **就活におけるミスマッチ** によって生じていると考えます。
さまざまなキャリアの選択肢が存在するにも関わらず、固定的なイメージや学生の無思考により、
学生は自ら **選択肢** を閉ざしているのではないか。
だからこそ、納得した就活ができず、他の可能性を模索して職を離れるのではないか。

私たちは、学生が幅広いキャリアの選択肢を知ることと、選択を主体的に行えるよう
就活で評価されるスキルの習得を手助けしていきます。

©2024 Waseda Career Society

生まれて2年の団体を、10年続く団体へ



TOP MESSAGE

私達は2022年度のコロナ禍に、「学生のキャリアの選択肢を広げる」という理念の元結成され、今に至るまでの2年間、早稲田生を中心に学生が納得したキャリアを選ぶことができるための活動を行ってまいりました。第二期では以前に比べご協働してくださる企業様の数が格段に増え、第一期からの素晴らしいご縁が続きながらも、新たに弊会と「早稲田生に向けてイベントを開きたい」と仰ってくださる大勢の社会人の方がいらっしゃいました。
本報告書では、そんな第二期の活動の全てを余すことなく掲載しております。
引き続きお目通しいただければ幸いです。

ところで、団体の「キャリアの選択肢を増やす」活動が大きく広がった第二期でしたが、これは私が向き合ってきた第二期の姿とは少し違います。私にとっての第二期とは、「組織運営の基盤が築かれた1年」に他ならないからです。なんとか団体としての体裁を整えながら、全力で走ってきた第一期運営陣から襷を受け取った私は、「早稲田キャリア研究会」という素晴らしい理念を掲げる組織を、今後10年以上続いていく組織にすることをこの1年における大目標として日々の運営に取り組んでまいりました。
その成果として、第二期において運営側として団体に関わるメンバーの数は急増し、業務の属人化の解消並びに団体が有するキャパシティを大きく広げることができました。
次年度ではこの広がったキャパシティを活かし、より私たちが掲げるパーパスに近づけるような活動を行ってまいります。

最後になりますが、今年度に弊会に関わってくださった全ての企業様、各種活動に参加してくださった社会人の方や学生の皆様、その他弊会の運営を多様な形で支えてくださった皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。
頼もしい後輩たちが育っております。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。

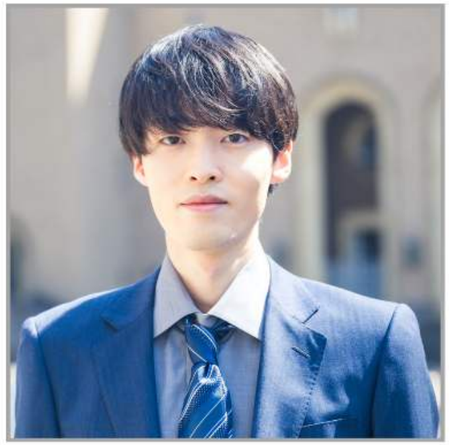
早稲田キャリア研究会 第二期代表
井村駿介

©2024 Waseda Career Society

第二期 運営責任者紹介

2023年度における会運営の責任者一覧です。

局責任者



代表/講座編成局長

井村 駿介



副代表/広報局長

石川 明日翔



会計

小暮 洋輝



総務補佐/イベント局長

郡司 遼太郎



総務補佐/渉外局長

藤嶋 大暉

委員会

会則制定委員長

伊藤 雅人

早稲田祭実行委員長

江袋 有葵

ADVISOR

第一期総務

林 詩音

第一期総務

金本 晃司朗

©2024 Waseda Career Society

活動モデル

各局に所属するボードメンバーが、活動理念に沿って団体における活動を企画・実行していきます。

活動母体	活動理念	具体的な活動

運営(ボード)

総務局
活動の責任者として、
全局の監督を行う

講座編成局
通常活動の核となる
講座を企画・実行する

渉外局
団体外部と協働し、
企画の調整役を担う

広報局
団体の活動を発信し、
外部との接点となる

イベント局
団体メンバーを繋ぐ
イベントを企画・実行する

パーパス

学生が納得したキャリアを
選ぶために、キャリアの
選択肢を増やす

1st キャリアの選択肢を知る

将来のキャリアにおいて
選びうる可能性を知り、
最適なものを検討する

- **自分を知る** — **自分の価値観を掘り下げ、深く理解する活動**
  自己分析会、キャリア選択に関する公演など
- **キャリアを知る** — **仕事の選択肢について知る活動**
  業界分析講座など
- **他人を知る** — **多様な価値観を持った会員との交流を促す活動**
  夏/冬合宿、季節のイベント、活動後のご飯会など

2nd キャリアに向けスキルを磨く

目標のキャリアに向け、
大学生のうちに
すべきことを実行する

- **就活対策** — **実際の就職活動を支援する活動**
  ES添削会、GD対策会、ケース対策会など
- **実績を積む** — **「学生時代に頑張ったこと」を作る活動**
  ボード活動、グループワークコンテンツなど
- **教養を得る** — **社会人と仕事ができるようになるための活動**
  論理思考講座、社会人との交流会、教養講座など

©2024 Waseda Career Society

02. What We Do

Year in Review 9
活動サマリ 10
成果と進捗 11
- 成果(対内活動) 12
- 成果(対外活動) 19
- 進捗 26

©2024 Waseda Career Society

Year in Review

第二期では、昨年度に増して多くの内部活動・対外活動を実施することができました。

内部活動

2023.4
- 第一期からの引き継ぎが完了する
- 第一期会員のうち、5割が団体を継続する
- 2023年度新歓活動を開始
  新歓ディナー会やプレ講座を開催する

2023.5
- 新歓活動が終了する
- 「2023年度キックオフ交流会」を、
  THE DINING BAR ChouChouにて開催
- 春学期講座開始

2023.6
- 「ケースフェルミ」「業界分析」
  「マナー」「財務諸表」の4講座を開講
- スポッチャにて有志企画を実施
- Slackにて「#Times」が開設される

2023.7
- 春学期講座が終了
- 活動の終了を記念し、打ち上げを開催

2023.8
- 夏合宿を開催

2023.9
- 第一回ボードミーティングを開催
- ボードゲームカフェにて有志企画を
  実施
- 有志に向け幹部育成会を開始。

2023.10
- 秋学期講座を開始
- 「秋季キックオフ交流会」を開催
- 会則制定プロジェクトが開始

2023.11
- 早稲田祭に参加し、モッフルを出店
- 「課題解決ワーク」を実施
- 有志企画で温泉旅行を実施
- 早稲田大学公認サークル申請を通過

2023.12
- 「秋学期第二回交流会」を開催
- 秋学期講座が終了
- 活動の終了を記念し、打ち上げを開催
- クリスマスパーティーを開催

2024.1
- 幹部育成会が終了。
- 次期幹部立候補調査を実施。

2024.2
- 冬合宿を開催
- 第三期幹部を発表

2023.3
- 春新歓を開始
- 新歓特設サイトを開設
- 追い出しコンパを開催予定
- 第二回ボードミーティングを開催予定

対外活動

2023.4
- リソー教育様と協働で、新入生向け
  のチラシを印刷し配布

2023.5
- Lifortune株式会社様と
  「第四回経営者交流会」を開催
  bouncy様から取材を受ける
- 業界分析講座の「投資銀行講座」にて、
  業界内定者をお呼びし講座を実施

2023.6
- 株式会社AlphaDrive様と
  「CVM in AD」を開催

2023.7
- CPA会計学院様と「士業交流会」
  を開催

2023.8
- マイナビTVに登壇
  「財務諸表で企業を読み解く」
  講座を実施

2023.9
- dip株式会社様主催の、
  「働いて何を失い、何を得るのか」
  トークイベントに登壇

2023.10
- 株式会社ジコウ様と、
  「キャリアのための自己探求学」
  を開催
- Lifortune株式会社様と
  「第五回経営者交流会」を開催

2023.11
- Posiwill株式会社様と、
  「自己分析キャリアワーク」を開催
- 株式会社アレスグッド様と、
  「価値観起点のキャリアセミナー」
  を開催

2023.12
- 株式会社マネーフォワード様と
  「キャリア選択ワークショップ」
  を開催

2024.1

2024.2
- 株式会社パラドックス様に協力いただき、
  澁澤塾、東京大学Diligentと
  「三大学ミートアップ」を開催。

2023.3
- CPA会計学院様と協働で、新入生向けの
  チラシを制作中

©2024 Waseda Career Society

活動サマリ

今年度の内部活動/対外活動における成果の一覧です。

内部活動

P. 11

1.講座の開講

春学期に4講座、秋学期に1講座を開講

2.交流イベントの開催

公式イベントを10回、
有志イベントを5回以上開催

3.会員数の拡大

春秋の新歓を経て、81名の会員を獲得
会員の学部が多様化

4.運営基盤の整備

機能別組織を整備し、総勢30名が
ボードメンバーとして参画

5.サークル公認化

早稲田大学の公認サークル申請に合格

6.幹部育成会の実施

有志に向け幹部育成会を企画・実施

対外活動

P. 21

通年

1.Lifortune株式会社

2回の経営者交流会の開催

2.CPAエクセレントパートナーズ株式会社

士業交流会、企業の読み取り方講座の実施

春学期

3.株式会社リソー教育

協働新歓チラシの作成

4.株式会社アルファドライブ

CVM in ADの開催

5.株式会社マイナビ

マイナビセミナーへの出演

6.ディップ株式会社

トークイベントへの登壇

秋学期

7.株式会社ジコウ

キャリアのための自己探求学講座の実施

8.ポジウィル株式会社

自己分析ワークショップの実施

9.株式会社アレスグッド

人と目的志向でキャリアを進めるトークセッションの実施

10.株式会社マネーフォワード

社員のキャリアを知る座談会を実施

11.PROJECT any

東大Diligentや澁澤塾の方を含めた食事会の開催

©2024 Waseda Career Society

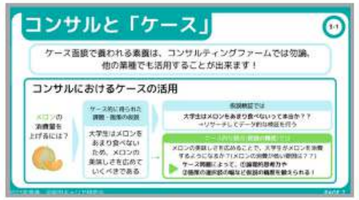
1.講座の開講

学生が講師を担当・講座を準備し、春学期に4講座、秋学期に1講座、その他有志で1講座を開講しました。

春学期

ビジネスケース講座





フェルミ推定やケース問題に取り組む講座を実施。
(全5回、評価4.44/5)

財務諸表講座





財務諸表の基礎について学ぶ講座を実施。
(全5回、評価4.25/5)

業界分析講座





多様な業界について理解を深める講座を実施。
(全6回、評価4.44/5)
投資銀行編では業界内定者が講座を監修・実施。

ビジネスマナー講座



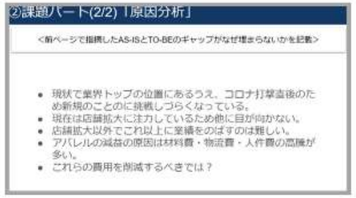


名刺交換やメールのマナーについて学ぶ講座を実施。
(全2回、評価4.56/5)

秋学期

課題解決ワークショップ





2週連続で、チームに分かれて実在する企業の課題に取り組むワークショップを実施。

「SPECIAL FEATURE」で詳細な内容を紹介。

有志

メタバース勉強会





メタバースについての有志勉強会を開催。

こちらの講座に加え、企業様と協力した特別な講座を6種類実施しました。

©2024 Waseda Career Society

CASE STUDY

Problem Solving Workshop

課題解決ワークショップ

2023年度秋学期に、新たな取り組みとして
2週連続で「課題解決ワークショップ」を開催しました。

このワークでは、学生が複数のチームに分かれ、
実在する企業を対象に将来を見据えた施策を立案しました。

本特集では、企画の誕生からワークの様子、
今後の展望に至るまでの一連の流れをご紹介いたします。

SPECIAL FEATURE

©2024 Waseda Career Society

CASE STUDY
Problem Solving Workshop
課題解決ワークショップ

Idea Plan Do Next

SPECIAL FEATURE

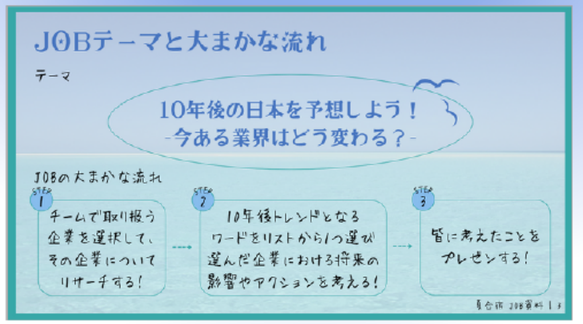
1.Idea

グループワークの少なさが発端

会員に対して行った活動へのニーズ調査で、
インプットした知識を実践できる機会
に高い需要があることが判明。

第一期・第二期の夏合宿で実施していた
ワークショップを参考に、
「1年生でもテーマになじみやすく、
かつ3年生でもやりごたえがある」
というコンセプトで、グループワーク講座を
企画することを決定。

夏合宿に実施したJOBテーマ



2.Plan

課題解決ワークショップ誕生

講座編成局全体で企画を担当。
第一期・第二期と春学期にケース講座を実施してきた
経験を活かし、ワークショップのお題を
「1講座目で企業の問題点を特定し、2講座目で
問題点の解決策を立案する」
という課題解決型のテーマに決定。

対象とする企業は、普段の生活の中で接点がありそう
なBtoCの事業を行っており、かつ所属する業界全体
が下り調子な企業の中から選択肢を提示して
チームごとに決定してもらう方式。

3.Do

4チームで発表・質疑まで実行

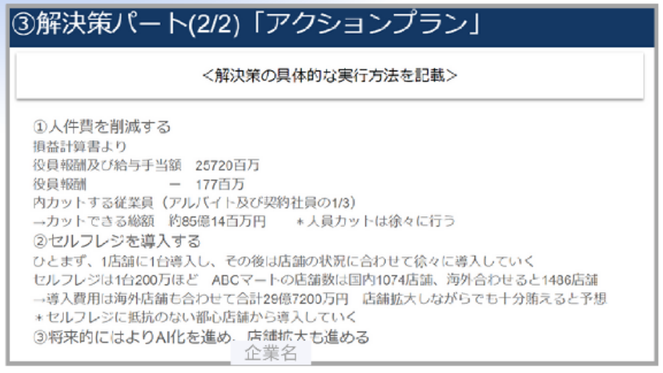
企画した講座を、秋学期に実行。
参加者は12名で、3人が4チームを組み
それぞれ「飲食」「書店」「靴」「映画」業界
における企業を対象として問題点の特定・施策の
立案を行い、全体で考えたことを発表した。

どのチームも、短い時間の中で出した結論を
根拠でサポートしようとする姿勢が見られた。
対面形式を活かして、発表の際に白板を使用して
参加者にプレゼンを行うチームもあり、
質疑も活発に行われた。

発表の様子



チームのアウトプット



4.Next

学生のレベルを高め、より大規模に

本企画は、学生に主体的な学びの場を提供し、
今後の講座における一つのモデルケースになるような
活動になった。一方で、課題特定の過程や立案された
施策の具体性など、よりハイレベルな学生が参加する
場としていく上で改善の余地が見受けられた。

この取り組みを踏まえ、第三期では
・1年を通じて会員の論理的思考力を鍛え、社会人の
　方からFBをいただけるレベルのワークショップを
　行える土台を築く
・実際に社会人の方にFBを頂く機会を作る
という2点を目標とし、最終的に
「キャリ研の代名詞となるような
　コンテストイベント」
に昇華させられるように改善を続けていく。

©2024 Waseda Career Society

2.イベントの開催

公式/非公式ともに、会員同士が仲良くなれるイベントを多数開催しました。

学期キックオフ





学期打ち上げ



交流会講座



夏合宿





早稲田祭





クリスマス会



女子会



冬合宿





追い出しコンパ





Official

Unofficial

ボウリング大会



活動後のご飯会



吉祥寺会



温泉旅行



紅葉ドライブ



その他
・BBQ
・スポッチャ
・ボードゲーム会
など

©2024 Waseda Career Society

3.会員数の拡大

会員数が前年度より大幅に拡大し、また会員の属する学部も多様化しました。

年間会員数

第1期では42名の新規入会者を獲得したが、第2期では前年度からの継続者が20名、新規入会者が61名と**合計会員数は前期の2倍、新規入会者数はおよそ1.5倍**となる。
前年度と比べ大幅に会員数が拡大する。
学内総合情報誌への掲載と、新歓期におけるSNSによる積極的な広報が増加の要因と思われる。

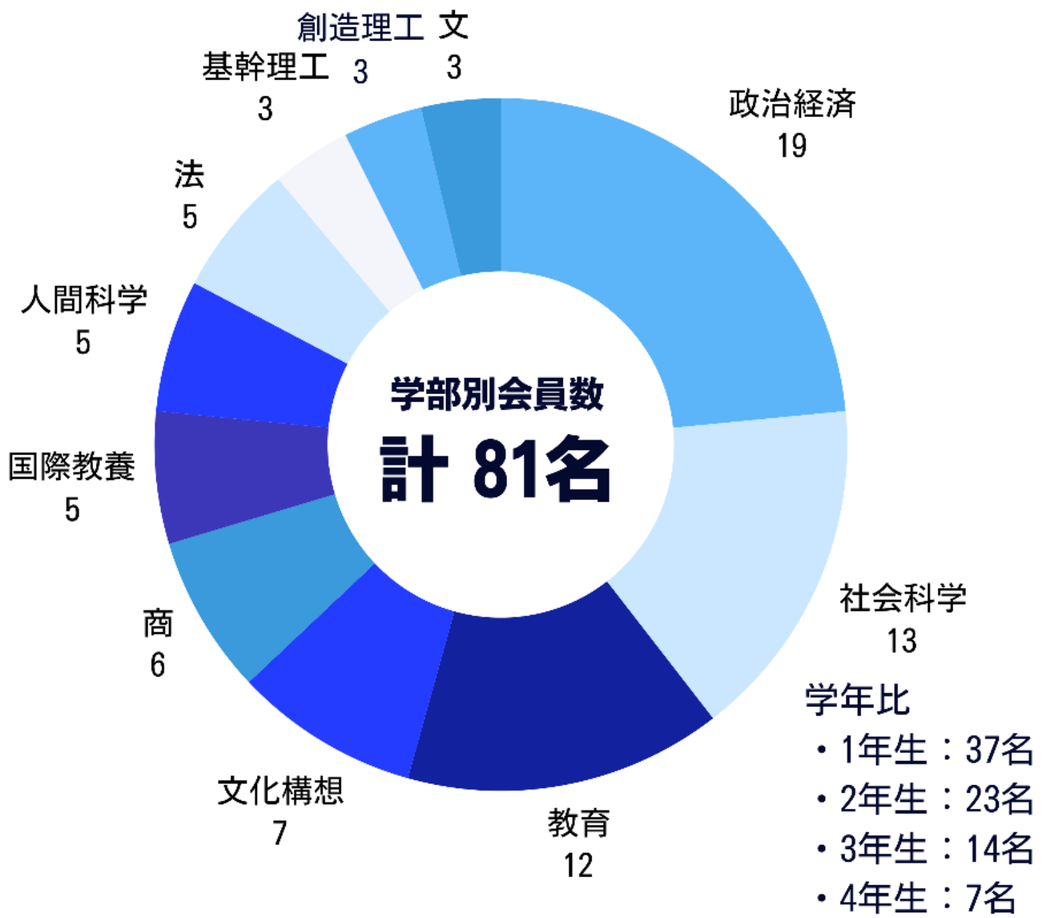
学部別会員割合

第1期では政治経済学部がおよそ60%を占めており、次年度の目標として学部の多様化が挙げられていたが、第2期では**同学部の割合は23%に低下**し、**学部の分散においてもその標準偏差が7.0から5.1に低下**。
前年度と比べ大幅な学部の多様化を達成。

展望

来年度は人数目標として**会員数100名**を設定し、より学部の多様化を図りたい。
また、第一期の次年度継続率は47%、第二期の次年度継続率は52%と伸び悩んだ。
第三期では会員数の増加に関わり、かつ会員の年間満足度を表すとして
次年度継続率を重要達成度指標に設定。継続率60%を目標とし、その達成を目指す。

第二期 会員の学部・学年



©2024 Waseda Career Society

4.運営基盤の整備

運営体制が整備され、運営に関わるメンバーが増加してより安定した組織となりました。

ボード運営制度概要

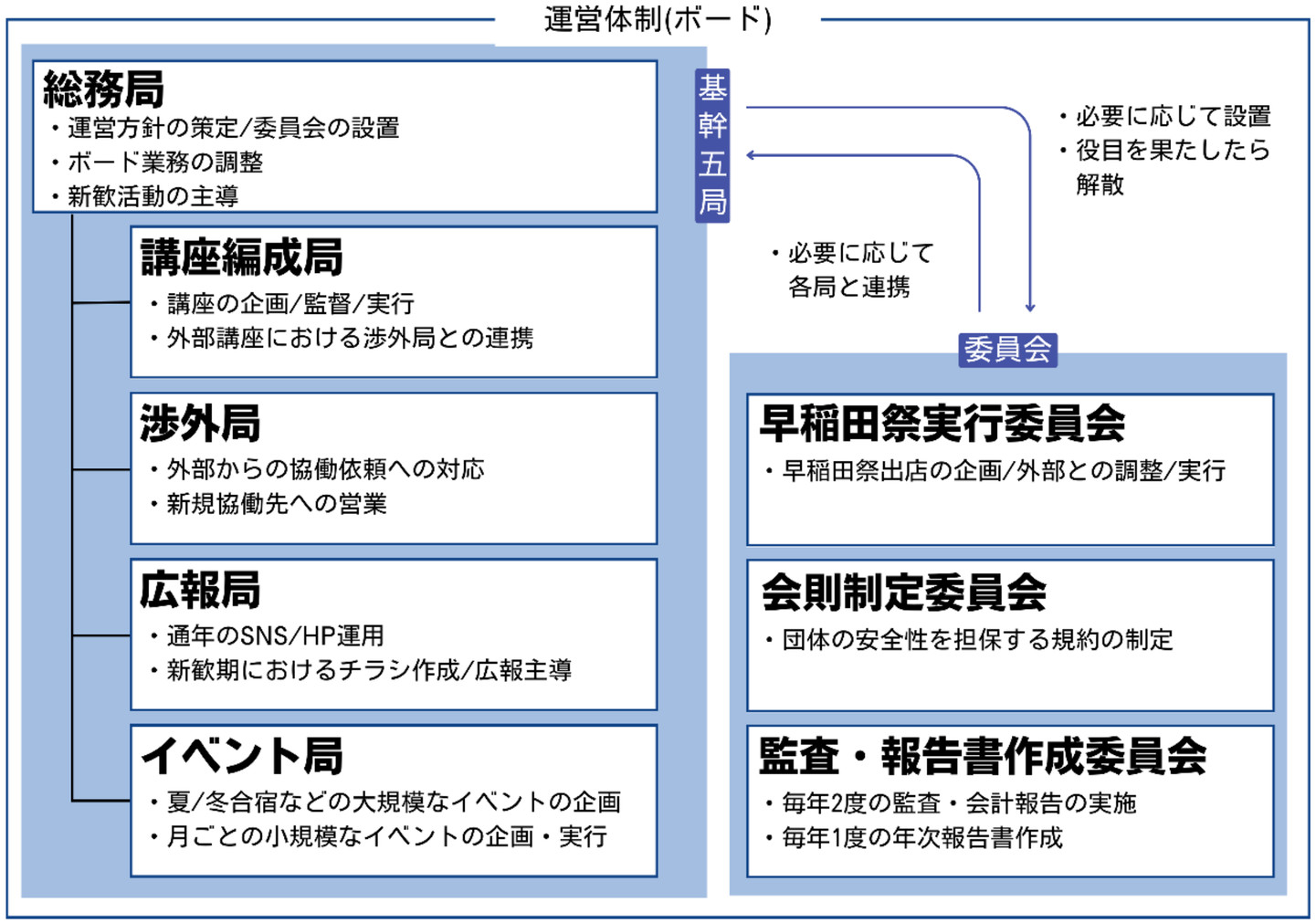
「①業務の拡大」「②属人化の解消」を目的とし、第1期に機能不全となった局制度を再編。運営方針・人材獲得を統括する**総務局**、通常活動の核となる講座を企画・実行する**講座編成局**、団体外部と協働して企画の調整役を担う**渉外局**、団体の活動を発信し、外部との接点となる**広報局**、団体メンバーを繋ぐイベントを企画・実行する**イベント局**の通年業務を行う五局を設置。
加えて、一時的な業務を実行する委員会を設置。
これら運営制度をオープンにし、会員が自由に参加・離脱可能に。
運営に関わってくれる会員を「ボードメンバー」と呼称。

局・委員会における活動

- **局定例/委員会定例**
  情報共有・意思決定・タスクの割り振りのため、各局・委員会内部で毎週1度定例を実施。
- **局長定例**
  各局連携のため、各局の局長と総務局のメンバーで毎週1度局長定例を実施。
- **ボードミーティング**
  ボードメンバー全体で目標設定・意見交換のため、年に2度ボードミーティングを開催。

成果と展望

ボード運営制度の導入により、運営に関与する**ボードメンバーは年間6名から30名へと増加**。総務局のメンバーが他局の局長を兼ねるケースが多かったため、第3期は総務局でない局長を置くことにより業務集中を解消/能動的に運営に関わる場をより多く設けていく。



©2024 Waseda Career Society

5.サークル公認化

早稲田大学の公認サークルとなり、信頼性が高まりました。また幹部育成会では新年度への引き継ぎが早期から行えました。

公認化の経緯

第一期の課題として、
・歴史・実績がないビジネス系サークルであるため、参加を検討している学生や、ご協働を考えてくださる企業に対して負のイメージを与える(いわゆる怪しい団体として見られてしまう)リスクがある
・活動場所が不安定で、他公認サークルと比較して不利である
という2点が存在したため、サークルの信頼性を担保し、より活動しやすい団体にするために早稲田大学の公認サークルとなることを決定。
第二期秋学期に申請を通過し、公認サークル化。
早稲田におよそ500存在する公認サークルの一員となる。
公認化により、**早稲田大学に認められた団体として権威性が高まった**。
また、大学から**教室貸出などの支援を受けやすくなり、より安定した活動が可能**となった。

弊会に関わってくださる方へ

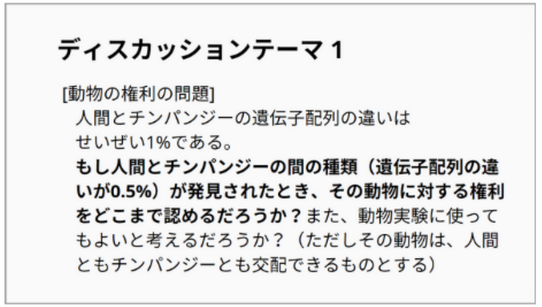
・弊会に関わる方が、より安心感をもって活動に参加できる状態を維持していきます。
・活動の安定性を担保し、サークルが持続する状態を守ります。

6.幹部育成会の実施

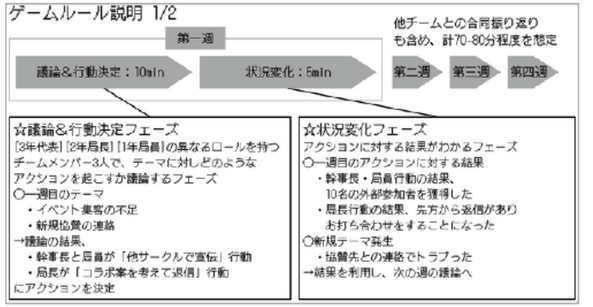
幹部育成会の概要

サークル運営における執行代が1年で入れ替わるという特性上、下級生には代替わりに先がけて、マネージャーとしての心構えや知的好奇心などのマインドセットを涵養する必要があるが、リーダーを内部で育成するための基盤が未整備であった。そこで、1-2年生の有志を対象として幹部育成会を実施した。具体的には、週に1度オンライン上で集まり、3-4年が準備したプログラムに取り組んだ。実際のプログラムの内容は以下の通り。
・リサーチ＆ディスカッション
(賛否が分かれるテーマに対して前提情報を知り、議論する　全6回)
・キャリ研改善施策立案(全3回)
・無限質問ゲーム
・運営シミュレーションゲーム
・リーダーシップディスカッション
・個別メンタリング(定期的)

R&D会



運営シミュレーションゲーム



©2024 Waseda Career Society

1.Lifortune株式会社

概要

・第二期春季に、「第四回経営者交流会」の実施
・第二期秋季に、「第五回経営者交流会」の実施

ご協働の内容

第一期より弊会のために経営者交流会を開催して頂いており、第二期では二回の経営者交流会を開催。延べ学生70名、経営者を含む社会人40名程を招いた。学生が経営者と交流し、食事を取りながら思い思いに会話を楽しむ場となった。
第一期より全体的に規模を拡大し、一度の開催につき学生35名強、企業10社をお招きした。第五回経営者交流会では会場のランクも向上させ、グレースバリの宴会場にて開催。
当イベントは社会人からも評判が良く、中には過去に経営者交流会に参加してくださった方がリピートしてくださるケースも見られた。
また、第四回経営者交流会では動画メディア「bouncy」様からの取材を受け、取り組みが記事として紹介された。
記事はコチラ。

イベント写真

第四回経営者交流会の様子





第五回経営者交流会の様子





©2024 Waseda Career Society

2.CPAエクセレントパートナーズ株式会社

概要

- **第二期春季に、「士業交流会」の実施**
- **第二期秋季に、「企業の読み取り方講座」の実施**

ご協働の内容

早稲田大学の多くのサークルと提携しているCPA会計学院様と、士業について将来のキャリアの選択肢として知ることができる機会作りをしていただいた。
春学期に行われた士業交流会では、アガルートアカデミー様のご協力もあり、弁護士、公認会計士、公務員の資格を持つ方に来ていただき、座談会を通して会員の士業に関する理解を深めることができた。
秋学期に行われた企業の読み取り方講座では、公認会計士の方から財務諸表の読み方を教えていただく勉強会を実施した。財務諸表のいろはを学んだ後、会員同士で財務諸表を読み合って意見交流する姿も見られた。また企業の読み取り方講座の後には、公認会計士の方と学生で公認会計士資格を取られた方との座談会が行われた。積極的な意見交換が繰り広げられ、士業についての会員の理解が深まった。

イベント写真

士業交流会の様子



企業の読み取り方講座の様子







©2024 Waseda Career Society

3.株式会社リソー教育

概要

・第二期春季に、協働新歓チラシの作成・配布

ご協働の内容

他学生団体に所属している会員の紹介で、リソー教育様と協賛関係を結ぶ。現在、首都圏を中心に展開されている個別指導塾「TOMAS」で講師として働く早稲田大学の学生を募集されており、新1年生向けに協働して新歓チラシを作成。新歓期に配布を行った。また、団体の公式アカウントでアルバイト募集の告知を行った。





4.株式会社アルファドライブ

概要

・第二期春季に、Career Vision Meetup in AD を開催

ご協働の内容

第一期に出版雑誌のイベントを行っており、繋がりがあったという経緯を踏まえ、こちらからの持ち込み企画で他大学の学生ををを含む1-2年生を対象にした1-Day インターンを実施。参加者はアルファドライブ様のオフィスに訪問し、オフィスツアーと講演会に参加した。初めて当時の2年生がリーダーとして指揮を執った企画でもあり、属人的ともいえる運営体制から脱却する足掛かりにもなった。参加学生は35名、運営メンバーは10名にのぼり、大規模なプロジェクトになった。
その後のCVMについてはP26にて後述。





©2024 Waseda Career Society

5.株式会社マイナビ

概要

**・第二期春季に、マイナビTVに登壇し
「財務諸表で企業の状態を読み解く」講座を実施**

ご協働の内容

第一期に続き、第二期でも弊会の通常活動で講座を実施しているという経緯を生かし、マイナビTVで視聴者の就活生に向けて「財務諸表で企業の状態を読み解く」という趣旨の講座を実施させていただいた。
財務諸表のうち、P/L、B/Sの基礎的な見方を学び、実在する企業の有価証券報告書を見ながら実践的に企業の状態を判断することに挑戦するという内容。
弊会からは一年生2名を含む3名が登壇。





6.ディップ株式会社

概要

**・第二期秋季にディップ社員様と弊会会員の
オンライントークイベントを実施**

ご協働の内容

第二期春季に弊会とのコラボをご提案いただき開催に至る。ディップ企画職社員様と弊会会員との間で「働いて何を失い、何を得るのか?」というテーマでトークイベントを行った。弊会からは植木が登壇。
キャリア観を考える弊会の活動とマッチした、貴重な視点や考え方を得ることができた。



©2024 Waseda Career Society

7.株式会社ジコウ

概要

・第二期秋季に、「キャリアのための自己探求学講座」の実施

ご協働の内容

早稲田大学社会科学部のOBであるとともに、株式会社ジコウの代表取締役である平田一茂様に「キャリアのための自己探求学」という講座を行っていただいた。キャリアとは何かという言葉の定義から、自分とは何かという自己分析までを一気に行い、各会員が各々の将来像について考える良い機会となった。
講座の後半では各々の歩んできた人生を振り返り影響力をグラフ化するライフチャートを作成した。その後に交流会があり、自分の過去の経験を言語化する良い機会を得られた。




8.ポジウィル株式会社

概要

・第二期秋季に、「自己分析ワークショップ」の実施

ご協働の内容

「ポジウィル株式会社」の社員の方3名と、同社でキャリアコーチングについて学ぶ「キャリア開発支援ラボ」の方7名、合計10名の社会人の方に来ていただき、自己分析ワークショップを開催した。
自分の一番ポジティブな体験から自分が大事にしている価値観を見つけるというワークショップを学生と社会人の比、1対1または1対2で行い、社会人の方からフィードバックをしていただいた。社会人の方にこれほど少人数で話を聞いてフィードバックしていただける機会は少ないため、とても勉強になったなど参加した会員の満足度が非常に高いイベントとなった。




©2024 Waseda Career Society

9.株式会社アレスグッド

概要

・第二期秋季に、「人と目的志向でキャリアを進める」トークセッションの実施

ご協働の内容

アレスグッド様が提供する「エシカル就活」が主催していた、
学生団体MEET UPイベントにて知り合う。
第二期の秋季に社員の方をお招きし、エシカル就活を通じて、
「人と目的志向でキャリアを進める」というテーマでトークセッションを
開催。面白い経歴を持つ社会人に学生が質問できる場となった。





10.株式会社マネーフォワード

概要

・第二期秋季に、社員様のキャリアを知る座談会を実施

ご協働の内容

株式会社マネーフォワード様人事部の方と、会員経由で知り合う。
お打ち合わせを重ね、人事部の方とご協働の形を模索した結果、第二期
秋季に早稲田大学OB・OGの社員様にお越しいただき、会社の説明と
社員様が歩まれたキャリアについての紹介を実施していただいた。
その後、会員と社員様との座談会を実施した。
複数の部署からいらっしゃった、キャリアも全く異なる社員の方と
ざっくばらんに交流する中で、キャリアの可能性を模索する機会となった。





©2024 Waseda Career Society

11.PROJECT Any

概要

・第二期秋季に、各種イベントへのご招待
・第二期秋季に、東大Diligentや澁澤塾の方を含めたお食事会の開催

ご協働の内容

監査法人アヴァンティア様と共催した「実践的ビジネスコンテスト」や
KFCの元CEOの方に聞く！マーケターのキャリアビルディング、
次世代店舗開発ワークショップなどのイベントにご招待いただく。
また、東大Diligent様や一橋大学澁澤塾様の代表者や担当者の方との
顔合わせも兼ねたお食事会を開催していただき、その後の
3大学ミートアップイベントにつながった。



©2024 Waseda Career Society

進捗

第二期では他のサークルとのイベント開催、サークルの安定性を高める動きなど、新たに始まった試みがありました。

①他大学サークルとの協働

PROJECT Any様より紹介をいただき、一橋大学公認団体である澁澤塾様、東京大学Deligient様との3大学ミートアップを第二期秋期に開催。いずれも各大学のハイレベルな学生が所属し、普段は関わりのないサークルメンバー同士で接点を持つことができ、互いの活動に刺激を受けるきっかけになった。
今後も、早稲田大学内外を問わず、他のサークルと協働イベントを開催し、学生が新しい価値観に出会う場を提供していく。

3大学ミートアップでの紹介



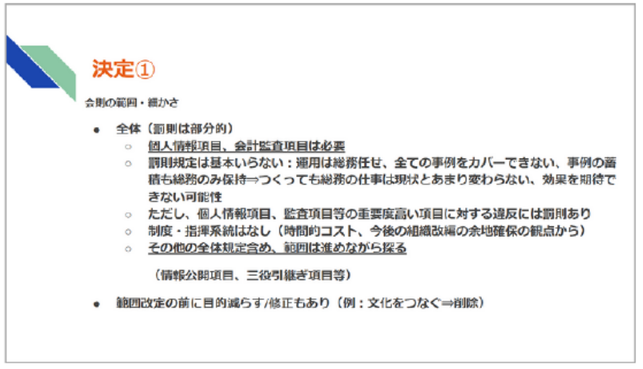
CVMの企画凍結と1年生企画

第一期では、次年度の目標として定期的な「Career Vision Meetup」の開催を目指していた。これは、学生が企業のオフィスにお邪魔し、見学やJOBの体験を通じて働くイメージを掴んでもらうという企画である。第二期では、実際にアルファドライブ株式会社と第一弾を企画・開催することに成功したものの、弊会でのイベント運営のナレッジが蓄積されていなかったことから、その企画の大半を先方に頼ってしまい、継続的に実施できる状態とは言い難い結果になってしまった。
この経緯を踏まえ、団体にイベント運営の経験値がたまり、十分な企画力・交渉力があると判断できるまで、弊会はCVMに関わる企画を一時凍結することにした。勿論CVM自体の理念は団体のパーパスとマッチしたものであり、準備が整った段階で本企画を再始動したいと考えている。
また、第三期に向け、複数名の一年生が自主的にCVMに近いイベントの実現に取り組んでいる。
このような積極性は団体を前に推し進める原動力にほかならないので、団体としても応援している。

会則の制定

サークルの大規模化・公認化に伴い、サークルの基本的な規則を整備する必要性が生じた。
これを受けて、第二期秋期に会則制定委員会が設置され、会則の内容に関する議論から、文章化までを他運営メンバーと協力しながら進めている。

議論の様子



©2024 Waseda Career Society

03. Next Steps

第三期代表挨拶/責任者紹介 28
次年度目標 30
今後の取り組み 33



©2024 Waseda Career Society

キャリ研の文化の中で、進化を遂げる1年に



GREETINGS FROM THE THIRD

早稲田キャリア研究会の3代目代表に就任いたしました、早稲田大学基幹理工学部3年の郡司遼太郎と申します。
第三期運営メンバーを代表してご挨拶させていただきます。

昨年度は弊団体にとって飛躍の年といえるでしょう。第二期を経て、早稲田キャリア研究会は名実ともに一人前のサークルへと成長を遂げました。特に、つの大きな変化があったと考えています。第一に早稲田大学の公認サークル化があげられます。えてして、弊団体は怪しい団体と誤解されがちであるため、公認化はそれを払拭し、より信頼されるサークルとなるうえで大きな一歩といえます。第三期も我々の活動の輪を、より多くの人に届けていきたいと考えています。第二に会員数の大幅な増加です。コロナ明けということもあり、大学全体として自粛前のような活発な新歓活動が起こり、早稲田らしい新歓ムードが見られました。弊団体も会員数を80名強まで伸ばし、イベントの動員数も昨年の水準を大幅に更新しました。第三に内部運営の整備がありました。昨年の反省を生かし、局制度による特化・分業に力を入れました。業務の効率化だけでなく、運営メンバー間での仲間意識も芽生え、モチベーション維持に大きく寄与したと考えられます。最後に、通常講座の多様化についてです。春学期をインプット重視、秋学期をアウトプット重視とし、より成長できる場の提供に力を注ぎました。ありがたいことに様々な企業様との繋がりも増え、秋学期は各企業様とコラボした講座を実施することができました。社会人の皆様と近い距離でのコミュニケーションが実現し、会員からの反響も良かったと記憶しています。

さて、今年度の継続会員はこのような変化を身近に見てきたメンバーです。すなわち、弊団体の文化を理解しつつ、ともに課題を乗り越えてきた信頼できるメンバーといえます。彼らとキャリ研を運営できることを大変うれしく思います。また、昨年に引き続き、通常講座の出席率や大規模化に伴う会議の生産性低下、OB/OG組織化など我々は未だ様々な課題を抱えています。まだ3代目、されど3代目です。文化を尊重しつつ、保守に走ることなくさらなる飛躍を目指します。

会員のため、協賛してくださる企業様のため、そして団体の未来のために運営一同尽力いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

早稲田キャリア研究会 第三期代表
郡司遼太郎

©2024 Waseda Career Society

第三期 運営責任者紹介

2024年度における会運営の責任者一覧です。



代表

郡司 遼太郎



副代表/講座編成局長

植木 健介



会計

藤嶋 大暉



総務補佐/広報局長

中井 幸哉



総務補佐/渉外副局長

丹羽 寧惟



イベント局長

近藤 量太



渉外局長

太田 丸朗

©2024 Waseda Career Society

Annual Goal

第三期 年間目標



それぞれの会員が、“今”と“未来”の両方で理想のキャリアを歩めるようにしよう

"キャリア"という言葉は、元々馬車が通った後にできる車輪の跡、すなわち"轍(わだち)"を指す言葉であった。

人生を一本の道と考えると、そこに形作られる"轍"は決して仕事だけのものではない。

人生を形作る要素には、働くこと以外にも趣味や、友人や、学びや、恋愛だってあるはずだからだ。

ならば、"キャリア"という言葉も、"ある人がその人生において、経験する全ての出来事"を指す言葉として捉えてもよいのではないか。

私たちは、キャリアを広義の意味で捉え、将来のキャリアに加えて現在のキャリア、即ち大学生活でも、理想の轍が描けるよう、全力で応援する。

©2024 Waseda Career Society

定量指標・バリュー

第三期では、5つの定量目標を設定し、4つの価値を守りながら運営・活動を行っていきます。

Quantitative Indicator

年間総会員数：**100**名以上

年間平均講座満足度：**4**/5以上

会員継続率：**60**％

最大イベント参加者数：**50** 名以上

提携企業数（講座実施、協賛含む）：**15**社以上

Our Value

- すべての活動が会員の成長につながるように

  キャリ研の活動・イベントが会員の成長を促すような質を担保

- 活動を通じて関わるすべての人たちを大切に

  様々な方の協力があってこその活動だということを忘れず、
  キャリ研を支えてくれる全ての方を大事に

- 推進力を維持しつつ、組織の安定化を目指す

  設立3年目の団体としてサークルのさらなる成長とともに、
  今後の継続を目指した組織の安定化

- キャリアに真摯に取り組む早大生が集まるコミュニティ作り

  自分の将来について真剣に考える早大生のためのコミュニティを目指す

©2024 Waseda Career Society

第三期局目標

第三期では、各局ごとに活動目的に沿った目標を設定し、その達成を目指します。

局	活動目的	局目標
講座編成局	通常活動の核となる 講座を企画・実行する	・講座編成局全員が1人1講座以上を受け持ち、企画/実行する ・キャリ研会員が活動を通じて知識を得て、それを実践に移せるような環境を構築する
渉外局	団体外部と協働し、 企画の調整役を担う	・秋学期講座でご協働できる、5件以上の新規渉外先を営業を通じて開拓する ・局員全員が自走し、局長と同等の業務がこなせるようになる
広報局	団体の活動を発信し、 外部との接点となる	・講座期間中の週2投稿、その他の期間の週1投稿を実現する ・局員それぞれが目的意識をもって、自発的に広報活動に取り組む
イベント局	団体メンバーを繋ぐ イベントを企画・実行する	・各学期それぞれ3回以上イベントを開催する ・局員1人1人がローテーションでイベントを企画/実行する

©2024 Waseda Career Society

今後の取り組み

次年度は、サークル大規模化に備えイベントの拡充や運営の最適化に取り組んでまいります。

取り組む課題	課題の詳細	次年度以降の施策
協賛先の拡大	先方からのお声がけが多く、キャリア・人材系の領域で事業をされている企業の割合が高くなってしまった。	・今まで関わりのあった企業様に加え、**より多様な業界で仕事に従事する社会人**をお招きする機会を増やす。 ・受け身の渉外ではなく**積極的に外部に接触し、新規協働先を獲得**していく。
核となるワークショップイベント開催	課題解決ワークショップにおいて、学生間のレベルにばらつきがある・学生同士のフィードバックになってしまうという課題を発見	・**方法論を学ぶ機会**や、**アウトプットを求める機会**をさらに増やして学生全体のレベルを高めていく ・FBのレベルを高め、より大きな成長機会とすべく、「**キャリ研ならではの大規模なコンテストイベント**」を開催し、社会人をお招きして学生のアウトプットにご意見を頂く機会を設ける
運営の分権化・会議の見直し	運営に関わるメンバーの増加に伴い、定例会議の長時間化・非効率化といった問題が発生	・今後より責任者となる運営メンバーを増やし、**1人の人間への業務集中を引き続き解消**していく ・規模に合わせ、柔軟に適切な組織形態に変化させていく

©2024 Waseda Career Society

04. Appendix

Member Interview 35
会計報告 38
運営メンバー名簿 39



©2024 Waseda Career Society

Member Interview

会員インタビュー　1/3



第三期 イベント局員

藤原 綾音

Q.早稲田キャリア研究会に入った理由はなんですか？

A.就活に漠然とした不安があり、情報をどのように仕入れれば良いか分からずにいたところ、キャリア研究会の存在を知り、就活について学ぶことができる点に魅力を感じ、サークル活動をするなら将来に繋がるものがいいと思ったので入会しました。

Q.早稲田キャリア研究会に入る前と後とでどんな変化がありましたか？

A.入会前は就活についての情報を何も知らず、右も左も分からない状態だったのですが、入会した後は、先輩方のお話を聞いたり、講座を受けたりすることで就活やキャリアについての見聞が深まりました。

Q.これからどんなことにチャレンジしていきたいですか？

A.今まではキャリア研究会内で講座やイベントに参加する側だったので、これからは運営する側に積極的に回っていきたいです。また、3年生になり就活に本腰を入れる時期なので、キャリア研究会で学びつつ、インターン、就活に全力で励んでいきたいです。また、就活が終わった後は自分の経験を伝えて後輩の就活に少しでも役に立てたらと思います。

©2024 Waseda Career Society

Member Interview

会員インタビュー　2/3



第三期 三役補佐・渉外副局長

丹羽 寧惟

Q.早稲田キャリア研究会に入った理由はなんですか？

A.新歓チラシが最初のきっかけです。
入ろうと最終的に決めたのは新歓ディナー会での先輩方のお話でした。
皆さんそれぞれ自身のキャリアにきちんと向き合っていて、
私も「なんとなく」は良くないなと考えさせられました。

Q.早稲田キャリア研究会に入る前と後とでどんな変化がありましたか？

A.自分のキャリアを少しずつでも考えるようになりました。
またキャリ研での講座を通じて業界や企業を知ったことで、
自分の興味関心が広がって将来の選択肢が増えました。

Q.これからどんなことにチャレンジしていきたいですか？

A.私は渉外局に所属しているのですが、昨年度は局員として一人で仕事が
あまりできていなかったので、今年度は昨年学んだことを活かして
局にもっと貢献できればなと思います。

©2024 Waseda Career Society

Member Interview

会員インタビュー　3/3



第三期 総務局員

安部 創登

Q.早稲田キャリア研究会に入った理由はなんですか？

A.キャリアや就活への意識が高めだったんだと思います。父の仕事への姿勢に昔から憧れと尊敬をしており、自分もそのようになりたいと昔から思っていたところにピッタリのサークルだと感じ、入会しました。高校3年間を決める高校受験、大学4年間を決める大学受験があるように、今後一生を決めるのが就職活動だと思っており、低学年のうちから準備していきたいと感じていました。とはいえ、言葉には表せないざっくりとした将来への不安が1番の理由なので、同じような悩みを持っている人がいたらぜひうちのサークルはおすすめです。

Q.早稲田キャリア研究会に入る前と後とでご自身にどんな変化がありましたか？

A.前期は他のサークルに力を注いでおり、僕は夏合宿以降から本格的に参加しました。1番の変化は、レベルの高い人たちと普段から関わることができるようになったことです。様々な学生コミュニティに参加してきましたが、やはりこのサークルは会員の質が非常に高いです。それにより就活やビジネスの土台がしっかりし、インターンシップの選考などでは無双しています。誰にでも温かいサークルなので、人当たりという面でもストレスなく過ごすことができるようになりました。

Q.これからどんなことにチャレンジしていきたいですか？

A.まだまだ中身がしっかりしていないので、一人の人間としても大人としてもこれから成長していきたいです。そのために自分自身と定期的に向き合い、努力していきたいです。
今は長期インターンで結果を出すことに注力し、その中で力試しとして海外での挑戦やビジコンなどにも取り組んでいくことが目標です。ゆくゆくは起業するのもよし、ハイレベルな企業に挑戦するのもよし、自分の好きな方向に向かって前進し続けたいです。

©2024 Waseda Career Society

2023年度 会計報告

自2023/03/09 至2024/03/20

支出の部			収入の部		
科目	摘要	金額	科目	摘要	金額
通信費	Slack	¥99,780	前年度繰越		¥31,599
	Zoom	¥23,375	年会費		¥496,000
	Canva	¥12,000	協賛金	リソー教育様	¥132,000
消耗品費	名札＋その他の文具	¥3,907		CPA様	¥33,000
広告宣伝費	チラシ印刷	¥56,330		プレシャスパートナー様	¥1,100
活動費	合宿補助費	¥26,008	その他	利息	¥798
	合宿費(臨時返金)	¥49,290		学園祭収益	¥215,833
	食事会返金(春新歓)	¥104,447			
	その他イベント補助費	¥119,685			
	手土産代	¥6,247			
その他	Udemy	¥2,200			
	振込手数料	¥7,535			
支出合計		¥510,804	収入合計		¥910,330
次年度繰り越し		¥399,526			

©2024 Waseda Career Society

第二期運営メンバー名簿

氏名	学部	学年	肩書
井村駿介	政治経済学部	3	代表 講座編成局長
石川明日翔	政治経済学部	3	副代表 広報局長
小暮洋輝	政治経済学部	3	会計
郡司遼太郎	基幹理工学部	2	三役補佐 イベント局長
藤嶋大暉	政治経済学部	2	三役補佐 渉外局長
江袋有葵	政治経済学部	4	早稲田祭実行委員長
伊藤雅人	政治経済学部	3	会則制定員委員長 講座編成局員
林詩音	政治経済学部	4	講座編成局員
金本晃司朗	政治経済学部	4	渉外局員 マイナビTV出演者
土屋純	政治経済学部	4	早稲田祭実行委員
中井幸哉	基幹理工学部	1	総務局員 広報局員
カンイェソル	政治経済学部	3	講座編成局員
古見優太	教育学部	2	講座編成局員
反町真惟子	文学部	1	講座編成局員

氏名	学部	学年	肩書
本庄朝英	政治経済学部	2	広報局員
隅田愛莉	教育学部	2	広報局員
町田若菜	法学部	2	広報局員
岩﨑多希	人間科学部	1	広報局員 マイナビTV出演者
小野結愛	文化構想学部	1	広報局員
輿石実来	教育学部	1	広報局員
澤田りほ	文化構想学部	1	広報局員
山口真凜	教育学部	1	広報局員
近藤量太	教育学部	2	イベント局員
藤原綾音	教育学部	2	イベント局員
桑澤小姫	教育学部	1	イベント局員
石井日南乃	政治経済学部	3	渉外局員
植木健介	創造理工学部	2	渉外局員 ディップイベント登壇者
太田丸朗	教育学部	1	渉外局員

氏名	学部	学年	肩書
丹羽寧惟	社会科学部	1	渉外局員
門馬瑠花	社会科学部	1	渉外局員
植西大輔	文学部	1	会則制定委員
加園寿陽	人間科学部	1	会則制定委員
間宮唯文	文化構想学部	1	マイナビTV出演者

以上、33名

©2024 Waseda Career Society

05. Special Thanks

後援・協賛・賛助・協力 41

©2024 Waseda Career Society

後援・協賛・賛助・協力

今年度お世話になった多方面の皆様に、感謝申し上げます。

講座・イベントにおいてご協働いただいた企業様(順不同)

Lifortune株式会社様、CPAエクセレントパートナーズ株式会社様、株式会社アルファドライブ様、株式会社リソー教育様、
株式会社マイナビ様、ディップ株式会社様、株式会社ジコウ様、ポジウィル株式会社様
株式会社アレスグッド様、株式会社マネーフォワード様、株式会社パラドックス様

講座・イベントにおいてご協働いただいた団体様(順不同)

PROJECT Any様、澁澤塾様、東京大学Diligent様

第二期に実施された経営者交流会に参加してくださった企業様(順不同)

Lifortune株式会社様、株式会社マークス不動産様、株式会社PRESENT様、株式会社One Purpose様、
株式会社リトワードリンクス様、株式会社共栄様、株式会社EISHIN様、株式会社SGP様、
株式会社Wunderbur様、株式会社いかしあい隊様、増井葬儀社様、澤田インベストメント株式会社様、
Onplanetz株式会社様、株式会社ブランドクラウド様、一般社団法人日本適性力学協会様、株式会社フォーエス様、ティーコム株式会社様

業界分析講座に協力してくださった方

籠橋秀峰様

©2024 Waseda Career Society



早稲田キャリア研究会
第二期活動報告書

発行月	2023年4月1日 初版
編集	井村駿介
協力	第一期・第二期・第三期総務局の皆様
発行	早稲田キャリア研究会
	〒169-0051
	東京都新宿区西早稲田１丁目６－１